

分野	テーマ	現状・課題	目指す将来像を実現するために必要な取り組み		分野別の 目指す将来像
			話し合いの場 で出された意見(一部抜粋)	既存の取組み	
交流	■地域の つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人に地域活動に参加してほしい ・子供会活動が減っている ・同じメンバーでの活動がない。もっと関心を持つ人を引き込む体制 ・自治会活動に無関心な人が多い ・自治会加入者すくない ・一人暮らしの方が増えているので災害時などのつながりが心配(自治会に入っていない人が増えている) ・日見は人が良いが横のつながりが無いと思う時がある(若い人達と！) ・大人が子どもたちに会う機会が少ないから、あいさつなどが減ってきている ・地区の活動に参加する人が少ない(ボランティア、イベント) ・日見地区の名前が知られていない ・日見に企業が少なく、働く場がない ・なかなか人が来ない ・若い人がいない ・昔は交流があったが今は自治会同士のつながりがない ・あいさつをしても返してくれない人がいる ・地域行事に参加する子どもが少ない ・日見小から見える朝日がきれい ・交流のイベントが少なく、人と知り合うことが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に外国人が多い。その外国人との交流や人材活用ができないか ・若い人の参加を広げる取組が大切！(伝統芸能の伝承も) ・自治会同士がつながり、皆で一つになっての行事がほしい ・総附・総科大のスポーツなどの応援を活発にする ・みんなが参加したくなる祭り、イベントをしよう ・老人も子どもも一緒につどえるなにかほしい ・自治会に入っていない人も集まれるイベントがあるといいかな ・水族館+αで日見に人が集まる目玉がほしい ・年齢ごとの得意分野の活用 ・ゴミ拾いイベント(環境と人との交流問題の解消) ・ALL日見で楽しいことにチャレンジしていく！！ ・総科大(学生、留学生、場所、アイデアなど)やペンギン水族館などの資源を活用して様々なことに取り組む ・日見全体で何か1つのことに取り組む！！ ・あいさつや声かけでコミュニケーション(あちこちに挨拶啓発の看板を立てる) ・広場などを使い、イベントを開催する ・まだまだペンギンを増やす ・行事に進んで取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーロン大会 ・日見公園夜桜ぼんぼり ・日見地区成人式 ・新年交歓会 ・鬼火焚き(坂下・岡下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合い助け合い人と人がつながる町づくり ・日見地区のみんながお知り合い ・あいさつ・ありがとうが言えるまち ・おせっかいができるまち ・若い人が活躍するまち
	■情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・情報発信が不足している ・後継者がいない(地域活動全般) ・すごい町だけど、日見の事を知らない人が多い。 ・日見地区の名前が他の地域の人に知られていない ・物事の情報発信の仕方(人の目にも耳にも入っていない) ・日見らしさ(網場:ペーロン、坂下:芒塚獅子舞) ・個人情報ネットワークになっており、情報発信ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日見の町の事をもっと知ってもらおう ・「日見」のPR ←人口を増やす！！生活・住居の場所 ・日見のイメージがうすい。良いところが知られていない(少し”地”意識が強いと感じる。新しい人も入りやすい方が…という意見も) ・情報発信の仕方の工夫 ・保護者の協力を得る ・聞く姿勢を作る ・色々な世代にはたらきかけていく →つながりができる。後継者の掘り起こしにつなげる ・もっと日見地区のみんなに伝統文化を見てもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンター便りの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能を中心に日見らしさを造っていく ・積極的な情報発信
福祉	■高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・斜面地という地形的な問題で交通の便が悪い ・集いの場の減少 ・高齢者が増えている。介護を受けなければならない方の災害時の対応をどうするか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が日見で生活しやすい環境づくり ・地域のボランティアに学校活動に協力してもらう ・友愛訪問等で相手との距離間を考える(担い手の負担減少、相手に引け目を感じさせない) ・若い人たちに入ってもらえるようなメリットを作る ・福祉体験やサロンの場を創出する ・近所の方への声かけを意識して行い少しでも交流の場を作り、状況がわかる関係を作る ・特定の人に負担がいかないような話し合いの場を作る ・助けてくれる人、協力してくれる人を発掘する ・コミュニティバスの運行を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい食事会 ・高齢者サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独を感じさせないあなただの一言 ・高齢者が安全に安心して生活できる日見に
	■子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や子どもの外出が減ったことにより、町の中で子どもを見かける機会が少なくなった。たまに公園で子どもの声が聞こえてくると嬉しい。 ・子どもの元気な声が聞こえない ・ゲームをしているので、遊んでいてもわからない ・学校活動やPTA子供会に興味を持たない(知らない、情報が届かない、経験がない) ・保護者がいる ・子ども同士の関係性が複雑化して悩んでいる ・”子ども”は大人と一緒に(地域のみんなで)に育てるという考えの希薄化 ・子どもの外出の減(コロナの影響、メディアの普及、習いごとなど忙しい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体、地域がうまくからみ合えるようなコーディネーターが必要 ・子ども食堂など子ども達が集まってふれあえる場をつくる ・メディアの講座(学びの場)を含め。実際に会う(つながる)機会をつくる ・メディアをうまく使えるように、小・中・大学と連携しながら大人も子どもも学べるようにする ・子供たちの意見を出せる場所をたくさん作るとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> (・子ども食堂) ・日見地区ロードレース大会 ・子ども会クリスマス会 ・ハロウィン仮装大会(アルパ子ども会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日見に住むみんなを考えて、協力する子育て！ ・子どもと大人もともに学びつながり続けられる日見のまち
環境	■利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園から大学まであり、お店・病院もあって住みやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の確保 コミュニティバス ・子どもから大人がいつでも入れるカフェ・寺小屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹灯籠づくり ・芒塚獅子舞 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちが住みたくなるまち
	■教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・総科大図書館は地域に開放されている。もっと周知活用してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空きアパートを活用して、お年寄りや子どもが集まる場所を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーロン大会 	
環境	■空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・坂が多い。バスが通らない。バス停までが遠い。公園が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が遊べる所をきれいにしてほしい(公園の草刈り、ゴミひろい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い、注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い、清掃活動
	■ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・集える場所(商業施設等)が無い(欲しい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日見公園 春の桜のぼんぼり期間の活用化。祭りをするとか…。 ・春になると桜が美しい。コースを作ってウォーキングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い、注意喚起 	
環境	■鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面地で空き家が目立つようになってきた事が淋しい町の印象が増す。 ・日見の海岸にはゴミが多く落ちている ・イノシシ被害等の駆除と対応 ・子ども達が遊べる所をきれいにしてほしい(公園の草刈り、ゴミひろい) ・川あそびができホテルが飛び交う美しい日見川！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が伸び伸び過ごせる環境(図書館・大きな公園)の充実 ・洗車などのマナーを守り、川をきれいに保つ ・高校美術部、小中学校の子どもたちでゴミ拾いや注意喚起のポスターをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地を使い地産地消 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園にごみ箱を置く ・草刈りをみんなでする
	■地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山手の方に道路があると安心 ・バスの便数が減るので不便になる ・日見川が生活排水などで汚い(子ども達が縄で魚を取っているのが危ない) ・公営住宅が古くなっている→生活環境が悪くなると住む人が減る ・銀行の統廃合 ・川で遊んでいる人がいて危ない ・公園がたくさんある、にぎやか ・坂や階段が多い ・自然がたくさんある(海や川や山) ・ポイ捨てが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの活用 ・各種団体への情報発信及び呼びかけ ・ボランティア活動への参加を募る ・地域で定期的に清掃活動を行う ・学校行事として日見のまちを掃除する ・ポイ捨て反対運動などでポスターを作る ・ゴミ拾いボランティアをする、公園のトイレ掃除をする ・公園にごみ箱を置く ・草刈りをみんなでする 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや声かけでコミュニケーション 	
安全 安心	■防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災の不安」自然が身近にあることは良いが土砂、地震、大雨など対策することが多い。「こんな時はこうする」といった方法が共有できるものがほしい。 ・夜の街が暗い ・不審者の発生 ・2～3年間防災訓練が中止になっていて、防災意識が低くなっている ・災害の種類に応じた避難ルートを事前に把握しておくことが必要 ・防災訓練に参加したくても足が悪いなどで参加が難しい人がいる ・消防団員が少なくなってきた ・空き家 防災 ・「長崎大水害」等、経験者が少なくなっている ・消防団員の減少 ・車が歩行所を優先しない ・通学路が狭い、歩道がでこぼこしている ・横断歩道が少ない ・どしゃくずれが起きそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風・大雨・地震に対してどう対応するか、こんな時はこうするといった災害時の対応方法を共有できるものが欲しい ・大規模な防災訓練だと準備や企画が大変なため自治会単位でも小規模で実施する →消防団に相談しながら訓練に取り組む ・消防団の魅力を子どもたちに伝え、将来加入してもらう ・防災意識を高めるため、チラシを作成し回覧板でまわす ・長崎大水害の経験を伝える活動をする ・歩道の幅を広げるために募金活動をする ・車を運転する人が歩行者優先を心がけるように呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 ・パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが安心して暮らせる町 ・心も体も安全・安心のまち ～事件事故ゼロ・ゴミゼロ～
	■防災				

部会

交流事業・情報発信

福祉・子ども育成

安全安心・環境